

MAMANOEN
Report



ままのえんもおかげさまで 創立15周年を迎えました



■コミュニティビジネス起業プランコンペ
優秀賞を受賞(内閣府地域雇用創造事業)

2012 合同会社ままのえん設立



■プロモーション支援
一時託児事業スタート



■出産・子育て準備祭



■埼玉県男女共同参画推進センター 女性活動支援拠点入居



2014 埼玉県の事業受託

■女性就職支援セミナー受託(県ウーマノミクス課所管)



2011



2015 さいたま市CSRチャレンジ企業認証

(2015年 さいたま市経済局商工観光部経済政策課所管)



■浦和区駒場マンションプロジェクト



■さいたま市ふるさとハローワーク内
「再就職チャレンジコーナー」運営支援
■ワークステーションさいたま一時託児事業



2016 第11回さいたま輝き荻野吟子賞受賞

(2015年 県男女共同参画課所管)



■きらきら輝き部門受賞



■内職ラボ
劇団四季
オリジナルベルト
マイケース製作



■地域創生 移住プロモーション事業



■ベピママコム
さいたま市全10区開催

■平成28年度地域における女性活躍推進モデル事業
「園活ナビゲーター」採択(内閣府男女共同参画局所管)



2018 プロモーション支援事業に リソースを集中させる

■さいたま新都心
大型マンションプロジェクト



■商業施設販促支援業務開始



■商業施設ワークショップ

2017



■雪山堂ワークショップ



■マンションプロジェクト
地域情報相談会

2019



■商業施設
イベント進行管理

■非接触でのイベント実施



■ワークショップキット販売開始



2021 働き方の変化リモートワークをメインに



■代表小林あゆみ
埼玉県教育委員会教育委員拝命
任期4年間

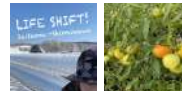
■マンション入居者向けプログラム



■伊勢丹浦和店キットネットひろば

2022

■事務局長高橋めぐみ
北海道へ農業&子育て移住



2023

教育委員会&農業を
必死に頑張った1年間

2024

■さいたま市都市公園指定管理支援業務スタート



■食品メーカー Instagram運用支援スタート



2020

新型コロナウイルス感染症発生 全事業一時ストップ

■WEBサイトやECサイト制作事業多数稼働





子育ても仕事も大切にしながら 無我夢中で走り抜けてきた15年を振り返って

創業当時のコンセプトは 子育てしながら自分育て

ままのえんが誕生したのは、2011年3月です。当時の設立メンバーと共に、さいたま市南区鹿手袋にあった「コミュニティカフェのら」に子連れでランチに行った際に、店主の新井さんに「私たち、こういうことがしたいと思っているんです」とお話ししたことがきっかけで、専業主婦が担う任意団体としてスタートしました。内閣府主催のコミュニティビジネスプランコンペの優秀賞を経て、2012年3月に合同会社ままのえんを設立し、途中役員の変更などありつつ15年が経過しました。当時未就学児だった子どもたちも成人となり、「子育てしながら自分育て」という当時のコンセプトがとても懐かしく感じます。



▲設立当初の活動の様子 ママ向けコミュニティの運営に力を入れていた



子育て中のママたちが持っている 眠ったスキルや能力を活かすことを ミッションに

さいたま市に暮らす子育て中のママたちが持っている眠ったスキルや能力を活かす！という想いから、法人設立を経て、さまざまな事業を展開してきました。女性たちの働き方の変化、さいたま市の子育て環境の進化、子どもたちの預け先の充実、インターネットやSNSの普及、新型コロナウイルスと非接触、リモートワークの推進など、その時々時代の流れや変化を見極められていたかは自信はありませんが、常に考え「どうしたら実現できるか？」と解決思考を持ちながら、意思を持って、様々なことに全力で取り組んで来ました。

無我夢中で走り抜けてきた15年。プロモーション支援事業においては、主たるサービスは対面イベント実施からコンサルティングや進行管理、ツール作成運用支援になりました。年間100回以上実施していた一時託児事業は、年に数回の稼働に。それだけ子どもの預け先が充実してきたということです。内職ラバにおいては、10年以上のお取引となる劇団四季とのお仕事に加え、完全オリジナルかつ複雑なご相談ご依頼を絶えずいただいています。

創業当初のままのえん図解▶



15年経ったままのえんの現在地は ゴールではなく まだまだ中継地点

15年経ったままのえんの現在地は、設立当初には全く予想していなかった場所にあります。今まで関わってくださった皆様の応援やサポートがあってこそ、の現在地です。世の中を眺めてみても、史上初の女性総理大臣の誕生、AIの爆発的な進展など、まさに予測不能な時代になりました。2022年12月末から2025年12月末まで4年間代表の小林は埼玉県教育委員会の教育委員として活動をし、事務局長の高橋は北海道に移住し農業と兼業で仕事に取り組むなんて、会社設立当初は全く予想していませんでしたが、この現在地はゴールではなくまだまだ中継地点なのだと思います。



私たちは「合同会社ままのえん」という仕組みを大切に育て続けながら、これからの10年を誰と一緒にどうやって過ごしていこうか、ワクワクしながら考え始めました。2026年は、私たちも50代になります。子どもたちも成人し手を離れてゆきます。いよいよ今までの経験や実績を思う存分活かすことができる期間に突入です。子育ての経験や会社経営の実績、教育委員での経験や実績、そしてこれまで大切に創り上げてきたネットワークを存分に活かすべく、日々前向きに、常に解決思考を持って、しなやかにパワフルに楽しんでいきます。

15年の実績成果を、地域コミュニティと地域企業様、そして社会にしっかりと還元していけるよう、誠実に丁寧に事業に取り組んでいきます。皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

